

大会準備・運営組織がスタート

本大会の大会準備・運営に関し、1月20日に第1回の「実行委員会」が行われました。

この実行委員会では、大会の準備・運営に関する基本事項・重要事項について協議し、決定していくこととなります。

実行委員会は、役員として、大会会長に上村春樹全柔連会長、大会副会長に藤田弘明、佐藤宣踐の両全柔連副会長が就任し、小野沢弘史全柔連専務理事が実行委員長、二宮和弘大会事業委員長が実行副委員長、他の全柔連の各専門委員長、講道館、東京都柔道連盟、東京学生柔道連盟、フジテレビ、博報堂、産経新聞社の各代表者が実行委員となって構成されています。

大会要項決まる

第1回実行委員会で大会の実施内容が協議され、その後、国際柔道連盟(IJF)側との調整を経て、大会要項の骨子が決まりました。

- 大会呼称 : 世界柔道選手権2010東京大会
(World Judo Championships 2010 TOKYO)
- 大会期日 : 2010年9月9日(木)~13日(月)
- 大会会場 : 国立代々木競技場
- 主催 : 国際柔道連盟(IJF)
- 主管 : 財団法人全日本柔道連盟
- 参加国・地域数、参加選手数(見込み)
: 参加国・地域数 約100カ国・地域
参加選手数 約700名
- 競技日程 :
9日(木) 男子 +100kg、-100kg
女子 +78kg、-78kg
10日(金) 男子 -90kg、-81kg
女子 -70kg
11日(土) 男子 -73kg
女子 -63kg、-57kg
12日(日) 男子 -66kg、-60kg
女子 -52kg、-48kg
13日(月) 男子 無差別
女子 無差別
- テレビ放映 : フジテレビ系列
- 入場券 : 一般販売は5月からの予定
- 大会事務局 : 世界柔道選手権2010東京大会
大会事務局
〒112-0003
東京都文京区春日1-16-30 講道館本館5F
TEL03-3818-4430 FAX03-3812-3995
メールアドレス : wjc2010tokyo@judo.or.jp

大会までの日程

- | | | |
|---------|-------|--|
| 1月 20日 | 第1回 | 実行委員会 |
| 2月 5日 | IJFにて | 大会要項(骨子)承認 |
| 3月 9日 | IJFより | 大会要項を各国・地域に発信 |
| 3月 11日 | 第2回 | 実行委員会 |
| 4月 3・4日 | 全日本選抜 | 柔道体重別選手権大会
日本代表選手決定
(男子+100kg、女子+78kg、
男子無差別、女子無差別を除く各階級) |
| 4月 18日 | 皇后盃 | 全日本女子柔道選手権大会
日本代表選手決定
(女子+78kg、女子無差別) |
| 4月 29日 | 全日本 | 柔道選手権大会
日本代表選手決定
(男子+100kg、男子無差別) |
| 5月 1日 | 入場券 | 一般販売開始(予定) |
| 6月 9日 | エントリー | 第1次締切(参加選手数) |
| 6月 | 第3回 | 実行委員会 |
| 7月 30日 | エントリー | 最終締切(参加選手名) |
| 8月~9月 | 第4回 | 実行委員会
日本選手団壮行式 |
| 9月 9日 | 開会 | |

TOPICS

国際大会の頂点「世界選手権大会」

「世界柔道選手権2010東京大会」に照準、熱気高まる

柔道の世界的な普及、国際化の進展に伴い、現在、世界各国・各都市で、様々な国際試合が開催されています。そして、「世界選手権大会」はその頂点にあり、各国の選手たちは、「世界柔道選手権2010東京大会」に照準を合わせ、世界柔道界の熱気は、本大会に向けて徐々に高まっています。

昨年度のロッテルダムの世界選手権大会から「世界柔道2010東京大会」までの国際試合は、以下のとおりです。

- マスターズ1回(1月韓国・スウォン)
- グランドスラム4回(12月東京、2月パリ、5月リオデジャネイロ、7月モスクワ)
- グランプリ4回(11月アブダビ、11月青島、2月デュッセルドルフ、5月チュニス)
- ワールドカップ15回(9月バーミンガム、10月バクー、10月ウランバートル、12月スウォン、1月トビリシ、2月ウィーン、2月プラハ、5月カイロ、5月サンパウロ、6月マドリッド、6月リスボン、6月コロンビア(未定)、6月マルガリータ島(未定)、7月ウランバートル、8月マイアミ)

このほか、東アジア選手権などの大会も開催されます。

大会テーマ・ロゴマーク

大会テーマは「原点」と「本物」

第1回実行委員会では、本大会の位置づけ、大会開催の意義についても協議がなされ、大会のテーマと、それを象徴する大会ロゴマークが決定しました。

本大会は、嘉納治五郎師範が創始された講道館柔道の「原点」への回帰と、「正しく組んで理に適った技で一本取る」という「本物」の柔道を世界に発信する大会となります。

大会ロゴマークは、「原点」という意味で、昭和31年の第1回大会のポスターに使われたデザインを現代的に進化させ、「本物」の柔道の躍動感を表わすデザインとなりました。色は、デザインの真ん中に、至高の価値を表すが華美ではない色合いの「金」を、その周りに、日本の深い伝統を感じさせる漆塗りの落ち着いた「赤」、そして、「柔道」の文字には黒帯の「黒」、背景には柔道衣の色である「白」、の4色が配されています。また「赤」は、燃え上がる「攻め」の心を、「金」は内に秘めた「守り」の心も表現しています。

大会ロゴマークのあったポスターやチラシは4月より公開、掲示・配布の予定です。



1956年「世界柔道選手権大会」ポスター 「世界柔道選手権2010東京大会」ポスター

世界ランキング制

世界ランキング制により本大会の結果が更に重要に

国際柔道連盟(IJF)は昨年、オリンピックの柔道競技の体重別階級区分に沿って世界ランキング制を導入しています。これは、IJFの指定する国際大会での結果によって選手に得点が与えられ、獲得した得点によって各階級での世界ランキングリストが公表されるというものです。

もちろん、オリンピックに次いで、世界選手権大会がもっとも高いポイントを得られる大会です。特に、得点は2年間有効であることから、オリンピックを2年後に控えた「世界柔道選手権2010東京大会」での獲得得点は、ロンドンオリンピックの出場資格に大きな影響を与えることになります。

国際大会で獲得できる得点(1~3位の場合)			
	1位	2位	3位
オリンピック	600	360	240
世界選手権	500	300	200
マスターズ	400	240	160
グランドスラム	300	180	120
グランプリ	200	120	80
ワールドカップ	100	60	40